



## 桐生市小学校陸上記録会 10/11(木)

なかなか秋らしいすっきりとした青空が見えない日がこのところ続いており、当日も開会式には霧雨が降るような天候の中、桐生市営陸上競技場において、第53回桐生市小学校陸上記録会が開催されました。選手たちは、運動会が終わってから、放課後自分の記録を伸ばそうと、ほぼ毎日練習に励み、大会には5・6年生の代表が34名出場しました。

記録会当日は、皆緊張した顔をしていましたが、自分の種目が始まると、練習してきた力を発揮しようと頑張っており、取り組んでいました。

今回の大会で上位4名に入るか、県大会出場標準記録を突破した選手は、10月28日の群馬県民の日に、正田醤油スタジアム（県営敷島陸上競技場）で行われる県陸上教室記録会への出場権が与えられます。神明小学校では、6年生加藤ゆいさんが800m走で、同じく6年前原悠人君がソフトボール投げでそれぞれ1位となり、県大会に出場できることになりました。市大会1位入賞、そして県大会出場おめでとうございます。加藤さん、前原君は、県大会でも力を発揮できるよう頑張ってください。

今回、出場した他32名の児童は入賞や県大会出場を逃してしまいましたが、一人一人が自己記録更新するなど、活躍できました。とても良い経験をできたと思います。



<100m×4 リレー>

### 【競技中のスナップ写真】



<女子800m走>



<男子1000m走>



<6年男女100m>



<走り幅跳び>

## 桐生市の民話を語る「民話を聞こう」の会 10/10(水)

この度、1・2年生を対象とした「民話を聞こう」の会が開かれました。当日は、NPO法人桐生おはなしの学校のメンバーより、桐山さん、江原さん、高実子さん、山口さんの4名が来校し、子供たちのために民話『椿の森の伝説』『庄人塚の狐』『大男の足跡』と紙芝居『おっかー、やーい』（広沢町に残る民話）、『十三塚のキノコ』（堤町に残る民話）を披露してくださいました。そして、子供たちは、語り手の人たちが「聞き上手」と驚くほど、真剣にお話を聞いていました。

桐生市にはたくさんの民話が残っているそうです。桐生市立図書館に民話の本がありますので、読書の秋に親子で読んでみるとよいですね。



「桐生を好きな子供」を  
育てる事業



## 伝統芸能に触れる～落語家を招いて 10/17(水)

この行事は、桐生市スポーツ文化事業団の主催事業で、その企画に学校が応募して行われたものです。

当日は、落語家で現在二ツ目の立川只四楼さんと前座の立川縄四楼さんが来校し、4年生に向けて、落語の授業をしてくださいました。

冒頭に、落語の格付けや使われる道具「めくり」「高座」「座布団」の説明、落語では必需品となっている扇子と手ぬぐいの使い方などの解説をしていただきました。その後、立川縄四楼さんに古典落語『つる』を、立川只四楼さんには古典落語『小ほめ』を披露していただき、聞いている子供たちは爆笑のしっばなしでした。

普段、あまり聞く機会のない落語ですが、二人の語り口調に、子供たちは大盛り上がり、笑っぱなしの1時間半でした。

最後には、質問コーナーがあり、二人の趣味や落語をする前の職業、給料など、いろいろな子供たちからの質問に、きちんと答えてくれました。

